

令和3年10月 文書質問及び回答

1 質問者 中田豪之助議員

2 質問事項 農業振興審議会の答申、新規就農耕種部会の意見書について

質問の内容・要旨	回答
<p>令和2年12月に農業委員会が意見書、農業振興審議会は答申を提出、また本年2月には新規就農耕種部会が意見書を提出し本町の農業政策の課題解消について提案したものです。</p> <p>農業委員会意見書より、</p> <p>① 農地利用改善事業実施は12組合あるが各組合の円滑な組織運営を協議するための体制づくりへ指導・助言。</p> <p>② 新規就農者に農地と住宅のセット提供が難しく営農と生活の場が離れている。よって地域住民や先輩農家と結びつきが弱い。農業技術以外に将来の生活・営農に係る研修プログラムが必要。</p> <p>③ 空席の営農指導員の早期確保</p> <p>④ スマート農業の支援拡大</p> <p>農業振興審議会の答申より、</p> <p>⑤ 近い将来に必要な畜舎及び牧草地の大規模整備</p> <p>⑥ 兼業農家、単身農家の受入</p> <p>新規就農耕種部会の意見書より、</p> <p>⑦ 新規就農受入協議会のメンバーに新規就農経験者を増やす。</p> <p>⑧ 農地、住宅、施設等に空きが出来た場合農業者または就農受入組織が一時保有し、新規就農者が必要になった場合に速やかに受け渡せる体制・基準をつくる。</p> <p>⑨ 就農希望者向け農地の基準、審査・判断方法を設定する。</p> <p>⑩ 分家独立、新規就農の経営形態モデルの設定</p> <p>以上についてその進捗、検討状況をお伺いします。</p>	<p>①～④につきまして、町長から農業委員会会長宛に回答しております。</p> <p>① 改善事業実施組合の機能充実が必要と考え、研修会を開催しました。</p> <p>② 新規就農受入部会で協議したいと考えております。</p> <p>③ 新年度の就任に向けて対象者を絞り協議しております。</p> <p>④ 農業者と意見交換しながら事業推進を支援して参ります。</p> <p>⑤～⑥につきまして、審議会から答申を受けております。</p> <p>⑤ 畜舎は大規模飼養に向けた牛舎を想定しております。草地は数年毎に草地整備を実施するものと考えております。国・道及び町の支援制度などを適時検討してまいります。</p> <p>⑥ 単身農家の受け入れは、11月1日から1名予定しております。なお、兼業農業につきましては営農形態に沿った就業を就農者各位が模索していただくとともに関連情報を提供して参ります。</p> <p>⑦～⑩につきまして、新規就農者の会からご意見が届いております。</p> <p>⑦ 現在のところ考えておりません。</p> <p>⑧ 新規就農受入部会でも議論になっております。中間保有を目的とした法人等の設立には至っておりません。</p> <p>⑨ ⑧の質問に関連しますが、農業者の協力を得て、その時点における最良な農地が提供できるよう「新規就農受入部会」などにおいて協議して参ります。</p> <p>⑩ 現在のところ考えておりませんが、今後において経営形態の多様化が進む可能性がありますので対応して参ります。</p>